

2021 年度助成先 (50 音順)

<ほっくーコース(助成金額上限 100 万円)>

団体名	団体所在地	これまでの主な活動内容	助成金による活動	助成金額
オホーツク魚類研究会	網走郡美幌町	オホーツク地域の魚類の生息状況および生態に関する調査研究を行い、魚類の保全・保護管理や普及啓蒙活動に役立てている。	生物多様性に配慮した農業用施設用手作り魚道	100万円
環境市民団体 エコ・ネットワーク	札幌市	森林の手入れや森林資源の有効活用に取り組む環境ボランティアや、海外環境研修ツアー(英国・デンマーク)、親子エコキャンプ等を実施している。	ヒグマの市街地侵入防止のための放棄果樹伐採等のボランティア	80万円
特定非営利活動法人 近自然森づくり協会北海道支部	札幌市	シマフクロウの棲める河畔林の再生(浜中町)や、イオルの森の再生(平取町)のほか、天売島の水源林整備と木材の有効利用による地域活性化等に取り組む。	シードリングバンク(実生銀行)の設立	100万円
釧路自然保護協会	釧路市	釧路川水系支川において魚類の産卵遡上環境を改善するため、落差工など魚類の遡上障がいとなっている構造物に魚道を整備する活動を実施している。	釧路湿原自然再生事業、釧路川支川魚類生息環境の再生事業	100万円
沼辺の会	苫小牧市	「苫小牧地区の自然環境」をテーマの中心とし、地域を拠点に活動する専門家を講師やリーダーとして招き、学習会やさんぽ会を行っている。	北海道生物多様性の宝庫「いきもの交差点とまこまい」を次世代へ手渡すために	100万円
北海道希少生物調査会	札幌市	生物調査団体として、希少爬虫類シロマダラ・石狩平野のオジロワシ・札幌圏のコウモリ類の現況把握調査等を実施している。	幻のヘビ「シロマダラ」を表舞台に！種の存続を助けるための活動！	100万円
山のトイレを考える会	札幌市	排泄物による北海道の山岳環境問題改善を図り、山岳トイレの改善活動のほか、山岳トイレがない地域では登山者の携帯トイレの普及活動等に取り組む。	大雪山国立公園における生物多様性保全のための携帯トイレ普及活動	30万円

<トムコース(助成金額固定 10 万円)>

団体名	団体所在地	これまでの主な活動内容	助成金による活動	助成金額
旭山自然調査隊	札幌市	月に1回の自然観察会や水辺の環境を守る活動、在来の植樹を守る活動、近隣小学校への環境教育支援など様々な活動に取り組んでいる。	ぼくたちが守るもの	各団体 10万円
アライグマ捕獲深川市民の会	深川市	深川市で増加するアライグマの捕獲活動のほか、音江地区全域での生息状態の調査等を行う。関係団体と連携しながら駆除対策の強化に寄与している。	市民による特定外来生物アライグマの駆除	
いしかり森林ボランティア 「クマゲラ」	石狩市	私有林等への植樹・保全等維持管理のほか、市民に植樹用種子を配り、幼木まで育ててもらったものを植樹する「キノシユ木育里親運動」などを展開している。	森林保全再生活動	
特定非営利活動法人 有珠山周辺地域ジオパーク 友の会	有珠郡 壮瞥町	洞爺湖有珠山ジオパークにて自然観察会や火山防災啓発学習登山会、オロフレ山の高山植物保護などの環境保全活動に取り組んでいる。	アメリカオニアザミ駆除・啓発活動	
遠軽町ウチダザリガニ防除 ボランティアグループ ジオ・ザリ・クラブ	紋別郡 遠軽町	ウチダザリガニの防除活動を通じて豊かな生態系の維持と外来生物問題に対する環境保全意識の普及啓発を図り、遠軽町の自然環境保全に寄与している。	ウチダザリガニ防除活動及び特定外来種駆除への普及啓発活動	
特定非営利活動法人 霧多布湿原ナショナルトラスト	厚岸郡 浜中町	霧多布湿原センターの指定管理者。環境教育の一環として、森・湿原・海の生態系や人との繋がり等を体感し学ぶための展示ホールを運営している。	大人も子どもも湿原遊び～遊びを通して体感する霧多布の漁業～	
駒生川に魚道をつくる会	網走郡 美幌町	落差工でサケやマスが遡上できなくなった駒生川で、魚が上流に遡上できるよう手作り魚道を作るほか、魚道の修理や、魚の遡上の確認等を実施している。	オジロワシに対するプラスチックごみの影響調査	
一般社団法人 北海道自然保護協会	札幌市	自然環境講演会など市民を対象としたセミナーを開催するほか、円山公園で市民ボランティアを募り、ゴボウなどの外来植物の除去活動を行っている。	市民ボランティアと行う円山公園での外来植物除去活動	
北海道生物教育会	札幌市	小中高の教員を中心に、北海道における生物教育の研究と実践を行う研究団体。野外観察や実験のほか、教材の開発等を通じて授業に役立つ活動を実施。	カムバック エゾサンショウウオ(在来種)	